

「地図豆」の地図を広げて街歩き

## 120-1 雑司ヶ谷霊園墓所めぐりとランチ (5.5km)

### 【街歩きの概要】

江戸川橋からスタートして弦巻川（水窪川）跡をたどって、東京で一番と言われ中々買うことが出来ないという“音羽・群林堂の豆大福”、そして雑司ヶ谷墓地では有名人のお墓参りをして、庶民の味のランチをする。



雑司ヶ谷宣教師館

### 【道順】

江戸川橋駅→鷺坂→弦巻川跡→鳩山邸→音羽・群林堂（音羽 2-1-2）→弦巻川跡→水窪川跡→吹上稻荷神社→大塚先儒墓所（豊島ヶ丘御稜）→護国寺→雑司ヶ谷霊園墓所めぐり→雑司ヶ谷宣教師館（雑司が谷 1-25-5）→いり江のランチ（高田 1 丁目 36-21）→都電鬼子母神前→大塚駅

## ルートマップ



### ・旧鳩山邸（鳩山会館）

現在の岡山県、勝山藩出身の鳩山和夫がこの地に居を構えたのは明治24年である。和夫は、弁護士の地位向上、私学の発展、立憲政治の発達と進歩を理想とした。洋館は大正13年に鳩山一郎によって建てられた。首相、初代自由民主党総裁の一郎のほか、妻の薫（共立女子学園理事長）、長男で外相を務めた威一郎を記念する部屋やバラに飾られる庭園などが公開されている。

### ・吹上稲荷神社

元和8年(1622)、2代将軍徳川秀忠が日光山から稲荷の神体を賜り、江戸城内吹上御殿内に「東稲荷宮」と称したのが始まり。5代綱吉のころ、江戸城内から一ツ橋に移遷し、その後、水戸徳川家の分家松平大学頭が拝領し、邸内に移した。

### ・大塚先儒墓所

徳川幕府に仕えた儒学者たちの「儒葬」による墓地。家族の墓も含め 64 墓ある。  
主なものに室鳩巢、木下順庵、柴野栗山、古賀精里らの墓がある。現在は東京都が管理している。見学は、となりの吹上稲荷神社の許可を要す。

#### ・豊島ヶ丘御稜

明治天皇の第一皇子である稚瑞照彦尊が死産した際、明治政府が皇居に近い武蔵国豊島郡の護国寺所有地に整備された。以後「陵」に埋葬される天皇と皇后を除く皇族専用の墓地として整備されてきた。

一般人が敷地内に立ち入って墓前参拝をする事は許可されない。

#### ・護国寺

天和元年（1681）五代将軍徳川綱吉が、生母桂昌院の願いにより創建した祈願寺である。如意輪観音を本尊としている。

後には将軍家の武運長久を祈る祈願寺となった。元禄時代の本堂、昭和 3 年に移築された月光殿は、ともに国の重要文化財に指定されている。

明治期以降徳川家との関係が絶たれ、一般人の墓所を造成し、三条実美、山県有朋、田中光顕、大隈重信などが眠る。

#### ・雑司ヶ谷霊園

夏目漱石（1-14-1側 3番）

泉 鏡花（1-1-13側 33番）

川口松太郎・浩（1-16-10側 13番）

小泉八雲（1-1-8側 35番）

竹久夢二（1-8-9側 32番）・

島村抱月（1-16-2側 12番）

永井荷風（1-1-7側 3番）

島村 抱月（1-16-2側 12番）

羽仁もと子・五郎（1-1-10側 42番）

中浜（ジョン）万次郎（1-15-19側 1番）

など多数の文化人が眠る墓所があり、散策に訪れる人も多い。



竹久夢二墓

・ 雑司ヶ谷宣教師館

明治 40 年にアメリカ人宣教師のマッケーレブが自らの居宅として建てたもの。マッケーレブは、昭和 16 年（1941）に帰国するまでの 34 年間この家で生活をしていた。豊島区内に現存する最古の近代木造洋風建築物。

【入り江】

刺身、焼き魚、てんぷら、どれもが丁寧な作られていて、味噌汁や漬物の味にほっとする。

いずれも 950 円ほど

豊島区高田 1 丁目 36-21 03-3981-5463 定休水曜日

【音羽・群林堂】

餅の塩味と餡の甘味のバランスが絶妙と評判で、文豪が愛した大きな豆大福は、お昼頃には、無くなることが多い。

文京区音羽 2-1-2 03-3941-8281 定休日曜日

\*\*\*\* オフィス 地図豆 Yamaoka mitsuharu \*\*\*\*